

タカオ岐阜本社ビルがBELSの最高ランクとNearly ZEB認証を獲得

～ZEB化における模範事例として、タカオが前進～

タカオ岐阜本社ビルがNearlyZEBの認証とBELSの最高ランクを獲得

株式会社タカオ（代表取締役社長 村橋章光）はこの度、岐阜県にある本社ビルを改修し、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）の「最高ランク★★★★★」の獲得と、「Nearly ZEB」の認証を取得し、「ZEBリーディングオーナー」として登録されましたのでお知らせ致します。



▲株式会社タカオ 岐阜本社改修イメージ

全国的に建築物のZEB化が推進されるなか、既存建築物のZEB化は課題が多く、進んでいないのが現状です。

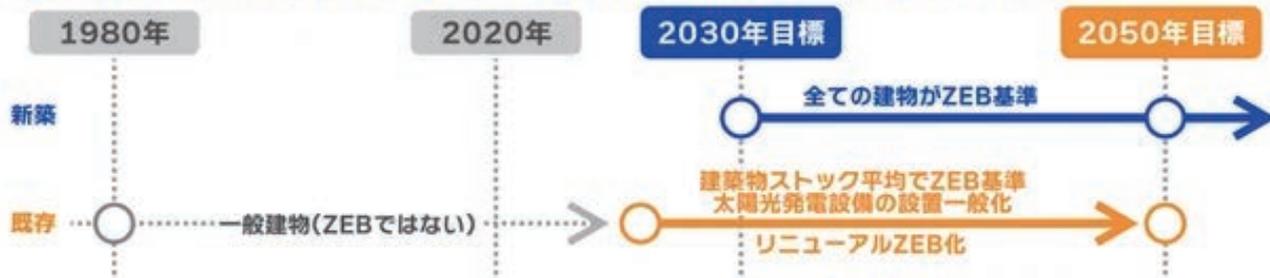
今回の弊社事例をモデルケースとして、今後の事業活動に活かしながら、エンドユーザー様のご希望に沿った形でZEB化の提案を行っていきたいと考えております。

社会に善をなし、人々に健やかで、地球環境にやさしく心豊かな明るい未来を作り出す「価値創造型の建設会社」として、持続可能な夢の実現に貢献することをパーパスとし、「地域の繁栄」と「地域の調和」をめざし、Always for the best「すべては最善のために」を掲げ、社員一同志高く邁進しております。

リニューアルZEBの重要性



- 2030年以降の**新築建物は、すべてZEB基準の建物**であることが必須である。
- 一方2030年度以前に建設された建物は、**2050年までに建築物のストック平均でZEB基準の実現、太陽光発電設備が設置されていることが一般的となることを目指す**、すなわち、**リニューアルZEB化**する必要がある。



リニューアルZEBのポイント

- ✓ 外壁の断熱強化
- ✓ 蛍光灯等の照明器具のLED化
- ✓ 上記の設計条件変更に伴う空調容量の適正化(ダウンサイジング)

15年～20年毎の空調更新時期にZEB仕様を上乗せすることで、経済合理性のあるZEBを実現するとともに、資産価値の向上にもつながる

株式会社タカオは新築建物のZEB化に加え、**2050年目標の既存建物のリニューアルZEBを推進**

▲リニューアルZEBの重要性と2050年目標に向けて

ゼロエネルギーの達成状況に応じて、4段階のZEBシリーズが定義されていますが、「株式会社タカオ本社」は、ZEBに限りなく近い建築物として一次エネルギーの年間消費量を75%以上削減することができる「Nearly ZEB」認証を獲得致しました。

省エネ数値はBEI0.23となっており、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）の「最高ランク★★★★★」の獲得も致しております。



▲株式会社タカオ 本社ビル BELS評価証

■ZEB化のメリット

1. 光熱費の削減：

エネルギー消費量の削減に伴い、建物の運用に係る光熱費を削減することができます。

2. 快適性・生産性の向上：

自然エネルギーの適切な活用、個人の好みに配慮した空調や照明の制御などにより、省エネルギーを実現しつつ快適性・生産性を向上させることができます。

3. 不動産価値の向上：

ZEBのような環境・エネルギーに配慮した建物は、他の一般的な建築物と比較して不動産としての価値の向上、街としての魅力の向上などにつなげることができます。

4. 事業継続性の向上：

ZEBを実現することで、災害等の非常時において必要なエネルギー需要を削減することができます。さらに再生可能エネルギー等の活用により部分的にはあってもエネルギーの自立を図ることができます。

※参照元：環境省：ZEB PORTAL <https://www.env.go.jp/earth/zeb/index.html>

※『ZEB』について

Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。創エネルギー分を除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量を削減し、創エネルギー分を加えて基準一次エネルギー消費量から100%以上削減した建築物のことです。

建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんが、省エネによって使うエネルギーをへらし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすることができます。

参照元：環境省 ZEB PORTAL <https://www.env.go.jp/earth/zeb/index.html>

※「BELS」について

BELS（Building-Housing Energy-efficiency Labeling System、ベルス）とは、一般社団法人住宅性能評価・表示協会が創設した建築物のエネルギー消費性能の表示に関する第三者認証制度です。BEI（基準一次エネルギー消費量に対する設計一次エネルギー消費量の割合）の値によって星の数で5段階評価が行われ、この江南工場事務所棟が取得した星5つは最高評価となります。

参照元：一般社団法人住宅性能評価・表示協会 <https://www.hyoukakyukai.or.jp/bels/bels.html>

■ 「ZEBリーディング・オーナー」に登録

ZEB化推進の取り組みの一環として、一般社団法人 環境共創イニシアチブがZEB実証事業として公募している「ZEBリーディング・オーナー」に申請し、登録されましたことをお知らせいたします。



▲ZEBリーディングオーナー

「ZEBリーディング・オーナー」は、自らのZEB普及目標やZEB導入計画、ZEB導入実績を一般に公表する先導的な役割を持つ企業のことです。

タカオは、ZEBに関連する取り組みや技術および中長期のZEB導入計画・目標について情報発信を続け、環境に配慮した経営を実践してまいります。

※参照元：一般社団法人環境共創イニシアチブ https://sii.or.jp/zeb31/leading_owner/

株式会社タカオは、企業ビルのZEB化改修工事を推進し、環境負荷低減と持続可能な社会への貢献、そしてZEB化改修工事を請け負った企業様の企業価値向上を目指して参ります。

ZEB化に関するお問い合わせやその他ご相談はこちらまで



お問い合わせページ

【会社概要】

社名：株式会社タカオ

本社所在地：〒500-8227 岐阜市北一色3丁目9番21号

代表取締役社長 村橋章光

事業内容：総合建設業、テナントリーシング、不動産仲介業

設立：1977年9月12日

HP：<https://www.takao-net.jp/>

株式会社タカオのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/128059